

予算委員会の論戦を通じ政府は尖閣事件後、間を置かず日中首脳
の顔合わせが実現し関係緩和に向かったと胸を張った。しかし、経
過を点検すれば今後も外交的失策を繰り返す危うさが潜んでいる。

日中関係

仙谷由人官房長官は「柳腰外
交」という表現を使い政府の「し
なやかでしたたかな対応」を旨
自賛し判断ミスを否定した。

菅直人首相の周辺には謝罪と賠
償を要求する中国と派手にやり合
わず、建設会社の
四人の釈放を実現
したことを「静か
な外交の勝利」と誇る声さえある
という。

中国漁船の船長釈放後、まもなくブリュッセルで開かれたアジア
欧州会議(ASEM)で菅首相と
中国の温家宝首相の「廊下会談」
が実現し、その後、日中関係が緩
和に向かった。仙谷長官らは、こ
れを誇りたいのだらう。
しかし、そのプロセスは問題が

多い。外交筋によると、関係緩和
には民主党の細野豪志前幹事長代
理が訪中し外交政策の司令塔であ
る戴秉国・國務委員(副首相級)
と会談したことが功を奏した。
仙谷長官や前原誠司外相は表向
き細野氏の訪中への関与を否定し
ている。実際には細野氏は首相官

「静かな外交」の危うさ

邸の要請に基づき事実上の「政府
特使」として訪中したようだ。

細野氏は昨年末、小沢一郎幹事
長(当時)が百四十人の民主党議
員を引き連れ訪中した「長城計画
訪中団」の事務総長も務め、共産
党対外部門とパイプを築いた。細
野氏には中国ビジネスの経営コン
サルタントも同行し、独自の人脉
から中国側と折衝したという。

細野氏の訪中に外務省は関与せ
ず、ブリュッセルの日中首脳顔合
わせにも外務省の中国・モンゴル
課長や中国語通訳も同席しなかつ
た。これに対し党と政府が一体の
中国は日本担当者が同席した。

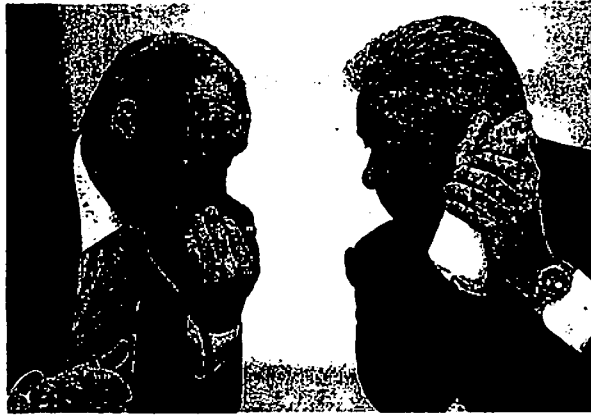
中国要人は公式発言は中国語で
しか行わず、外国語による記録を
会談記録と認めない。つまり外交
的には、日中首脳の会話は「なか
った」と同じである。

尖閣事件で外務省と官邸の意思
疎通不足があらわに
なり中国側の出方を
読み違えることが目
立った。事件收拾でも両者の亀裂
は一層、深まったようだ。

これから中国の国力は日本を上
回り、対応はますます難しくな
る。政治家と官僚が反目して
太刀打ちできるはずもない。
民主党政権が尖閣事件の收拾を
政治主導の成功例とはき違えるな
ら、日本外交の危機は今後、一層
深まるだらう。

モスクワ市長にプーチン首相側近

大統領選にらみ 双頭間に波風も



2008年3月、当時大統領職にあったプーチン氏からモスクワのクレムリンでの会議で耳打ちされるソビヤニン大統領府長官(当時) AFP・時事

「モスクワ」酒井和人「ロシアのメドベージェフ大統領が十五日、先月末に解任に踏み切ったルシコフ・モスクワ前市長の後任としてプーチン首相の側近と目されるソビヤニン副首相を指名した。二〇一二年の次期大統領選へ向け、大衆田の首都に、ミニ・プーチンが君臨する」とで、双頭体制に波乱が起きる可能性もある。

同日、同大統領は十五日、ソビヤニン氏と会談し

「モスクワは政権と一ツたルシコフ氏の解任致しなればならぬ劇も、首都での影響力」と述べ、クレムリン(大統領府)に従順であるよう求めた。

大統領は今年に入り、地方の有力首長を次々と辞任に追い込み、自身に近い人物へ交代してきた。大統領への批判的言動が目立

つたルシコフ氏の解任劇も、首都での影響力拡大を狙い大統領が描いたシナリオとみられてきた。

しかし、今回、大統領が指名したソビヤニン氏はプーチン氏の下で大統領府長官や副首相を務めた女房役。大統領に「従順」な人物

とは言い難い。指名に先立ち、プーチン氏が率いる与党「統一ロシア」は大統領に四人の候補者を提案したが、モスクワ市議会との対立が指摘される人物が含まれるなど、ソビヤニン氏以外に選択肢はなかった。

ロシア・グロバリーゼーション問題研究所のデリヤーキン所長は「ルシコフ氏の解任は「統一ロシア」の勝利だ」と解説。その後、新市長を選任する過程で、プーチン氏の巻返しがあったとみられる。

ソビヤニン氏の指名は結果的に、メドベージェフ大統領がプーチン氏への従順さを示す格好となったが、大統領は一方で経済政策や外交で脱プーチン色を強めており、今後、首都の主導権をめぐる双頭間の綱引きが激化する可能性もありそうだ。

